

SHIRAKOBATO

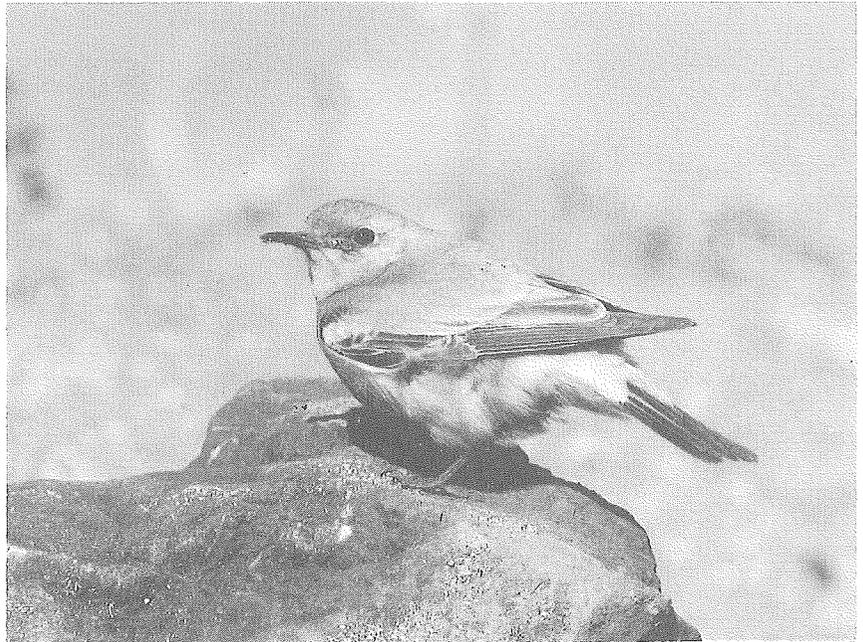
# しらこぼと



1998. 4

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO.168

日本野鳥の会 埼玉県支部

# バードソン1998 甦れ！山里Ⅱ

昨年に引き続き、バードウィークの初日、5月10日（日）にバードソンが開催されます。当支部からは、「リブランしらこぼと・彩の里山探見隊」が公式チームとして参加します。

今月は、バードソンについて、バードソンチームの紹介と当日の活動予定についてお知らせします。

## ■バードソンとは

バードソンとは、バードウォッチングとマラソンを組み合わせた造語で、4人でチームを組み、12時間の間に何種類の鳥を確認できるかを競い、チーム単位で寄付を募り、集まった募金を日本野鳥の会の自然保護活動のために寄付をするチャリティ・イベントです。

今年で11回目を数え、毎年テーマ（目的）を掲げ、募金活動を実施しています。

## ■バードソン1998の目的

1998年のバードソンは多様な生物が生活する環境「里山」を守るために募金が行われます。募金は次のような目的に使われます。

1. 土地制度や施策について提言します。
2. 里山の鳥類について調査・研究をします。
3. 日本各地で里山保全活動を行うNGOの活動を支援し、里山保全の情報ネットワークを作ります。
4. 第2回、里山シンポジウムを開催します。（1998年秋予定）

## ■バードソンのルール

昨年までは、①確認鳥種数、②募金者数、③募金総額の3部門の総合得点で順位を決めていました。

今年はルールを変えて、①確認鳥種数、②募金総額の2部門で総合順位を決めることになりました。

また、募金は各チームの責任において実施することになりました。

当支部公式チームは、確認1種あたりの金額を決める方式をやめ、自由な金額で募金していただく方式を採用することになりました。

バードソン・メンバーが各探鳥会をまわり皆様に募金を呼びかけますのでよろしくお願いします。

## ■「リブランしらこぼと・彩の里山探見隊」

支部公式チームには、株式会社リブランが昨年に引き続きスポンサーになっていただきました。

ネーミングには彩の里山を発見しようということで「探見」としました。

また、ルールで車で移動する場合は、メンバー以外の方が運転することになり、支部チームは5名になりました。

○リーダー 橋口 長和（春日部市）

4回前のバードソンにサポートして以来、毎回何らかの形で係わってきました。今回リーダーとしてどこまでやれるかわかりませんが応援してください。頑張ります。

○記録 浅見 徹（大宮市）

里山という言葉の響きが大好きです。子供の頃遊んでいた雑木林が目には浮かんできません。12時間たっぷり楽しめます。



橋口長和 浅見徹 島田恵司 高剋滲 入山博

○メンバー 島田 恵司 (鴻巣市)

自然の素晴らしさ、人々との出会いを大切に考えている親子鳥見人です。沙織里(9歳)を季節に関係なく誰かに托卵しています。茨城県岩間市出身。

○メンバー 高 剋彦 (上尾市)

4年前に石川いぬわし隊でバードソンに参加して4位でしたが、埼玉では状況が全く違ってしますので、他のメンバーに迷惑がかからないように頑張ります。

○ドライバー 入山 博 (春日部市)

5月といえば競馬！ 競馬といえばダービー！ そのダービーに出走する駿馬のように県内を駆けめぐりたいと思います。

■彩の里山探見隊の探鳥コース

バードソン前日の5月9日に神泉村の城峰山にある村営下久保コテージに宿泊し、翌日に備えます。

5月10日(日)午前4時45分に神泉村城峰公園駐車場に勢揃いし、バードソンのスタートを待ちます。5時から城峰公園内、神流湖下久保ダムから三波石峡を、山の鳥と居残りカモを重点に順次チェックします。

午前8時、本庄市の坂東大橋南詰めに到着、サポート隊とともに坂東大橋より下流の利根川南岸を、シギチや猛禽をターゲットに探し回ります。

午前11時、大麻生定例探鳥会(熊谷市)に荒川の明戸堰付近で合流します。ここでは探鳥に加え、探鳥会参加者からの募金や、オークション用の品物のご寄付を受け付けます。

午後1時、バードソンの目的でもある里山保全に尽力されている「武蔵丘陵森林公園の自然を考える会」の人たちと滑川町の森林公園で落ち合い、エール交換をする予定です。詳細は、5月号でお知らせします。

その後、皆様からの情報を頼りに、鴻巣近辺から中山道や元荒川に沿って南下し、シギチ、フクロウ、アオバズク、ツミなどを探します。

午後4時、浦和市三室の芝川の通称お立ち台に到着し、オークションを担当されるサポート隊と合流します。最後の悪あがきのミニ探鳥会で何をゲットできるかが楽しみで



す。

午後5時すぎ、バードソン終了とともに、三室の郷土博物館前に集合します。サポーターへの報告と記念撮影の後は、第2回バードソン記念大オークションの開催です。

以上が、今、バードソン1998埼玉県支部公式チームの予定です。

■皆様も参加できるバードソン

○野鳥情報

バードソンではチーム全員が確認した鳥種数で順位が付けられます。皆様からのサポート情報が上位入賞の大きな鍵になります。

上記の支部チームの探鳥コース沿いにお住まいの皆様から、フクロウ、アオバズクやツミなどの情報提供をお願いします。

なお事前の情報提供先については5月号でお知らせします。

○サポート

支部チームの探鳥場所に出かけてきませんか。目安の時間の少し前に集合場所でお待ちください。1人の目より2人の目の方が広い場所を探せます。よろしくお祈りします。

○募金

順位を決めるもう一つの要素が募金です。皆様のご支援をよろしくお祈りします。

○オークション物品のご寄付

バードソン最終地で行うオークションに出す物品のご寄付をお願いします。物品は当日のオークション会場(三室)、または、4月中の各探鳥会で探見隊メンバーにお渡しください。

ただし品物のご寄付については、申し訳ありませんが中古品はご容赦願います。

(文責 橋口長和)

# 埼玉県のタカの渡り

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

## はじめに

1997年9月28日(日)、サシバを中心とするタカの渡り調査が行われました。9月下旬は移動性高気圧に覆われた日が多く、前日から高気圧の張り出した快晴の一日でした。

## 調査結果

本年も、県内のタカの渡りの主要ルートである丘陵地帯と低山地帯の境付近、JR八高線周辺に5ヵ所の調査地(表1)を設けました。9月下旬に好天が続いたため、当日は例年より少ない結果(表2、表3)となりました。

表1 調査状況

調査地 市町村名	調査者	調査日 調査時間	天候
鐘撞堂山 寄居町	和田康男 他9名	9/28 7:45~12:10	晴
堂平山 都幾川村	小荷田行男 他2名	9/28 8:30~13:00	快晴
丸山 横瀬町	岡野 強	9/28 10:00~12:20	快晴
物見山 東村山市 鳩山町	逸見 嶮 他11名	9/28 9:00~12:00	晴
天覧山 飯能市	佐久間博文 他20名	9/28 8:15~13:30	晴

## おわりに

調査当日、50名近くの会員の皆様にご協力をいただきました。ありがとうございました。

(小荷田行男)

表2 1997年秋のタカの渡り調査結果

調査地	ミサゴ	ハチクマ	トビ	オオタカ	ハイタカ	ノスリ	サシバ	ハヤブサ	タカ S P	合計
鐘撞堂山	-	1	2	9	-	1	3	-	-	16
堂平山	-	-	-	1	-	-	9	-	-	10
丸山	-	-	-	-	-	-	10	-	-	10
物見山	-	-	-	2	-	-	1	-	-	3
天覧山	1	5	-	-	3	1	30	-	-	40
参考 9/27	-	-	-	-	2	-	16	1	1	20

表3 各年のタカの渡り本調査日におけるサシバの数

年	月日	天候	金鐘神社	鐘撞堂山	堂平山	丸山	物見山	白金平	高指山	天覧山	堀の内	浦和見沼
1986	10/5	晴	-	6 (9/23 31)	-	-	-	-	52	-	-	-
1987	10/4	快晴	-	4 (9/23 31)	-	-	28	(10/3 6)	149	-	-	-
1988	10/2	曇	-	10 (10/1 150)	-	-	19	0	1	-	-	-
1989	10/1	晴	-	25 (9/23 105)	-	-	100	14	79	150	-	-
1990	10/10	快晴	1	- (9/23 19)	-	-	-	-	-	2	-	-
1991	9/29	晴曇	13	34	-	-	29	-	21	151	-	-
1992	9/27	快晴	7	21	6	-	10	-	-	31	17	-
1993	9/26	快晴	-	19	45	-	3	-	-	73	0	-
1994	9/25	晴後曇	-	15	0	-	0 (10/2 122)	-	-	30	-	-
1995	10/1	晴	-	0	0	-	57-	-	-	84	-	14
1996	9/29	晴	-	-	0 (9/22 5)	-	1	-	-	4 (9/28 238)	-	-
1997	9/28	快晴	-	3	9	10	1	-	-	30	-	-

注：( )内は各年における最大値とその観察日

# 傷病野生鳥獣里親研修会の報告

藤掛保司（川越市）

2月24日(火)浦和市内で県自然保護課主催の研修会が開催され、支部長の代理として出席しました。

受付で名刺を出すとひな壇上に案内され、おやおや、一言挨拶をと言われたらどうしようかと考えていましたら、幸い紹介を受けただけでした。

研修内容は、次のとおりでした。

- 1, 埼玉県の野生生物行政の概要について  
(県自然保護課)
- 2, 傷病野生鳥獣の保護について  
(大山通夫・獣医師)
- 3, 人と野生生物の共生について  
(羽澄俊裕・野生動物保護管理事務所)

埼玉県の傷病野生鳥獣保護の手順は次のとおりです。

一般県民や各地の環境管理事務所等で保護されたものは、県内20ヵ所の保護診療機関(獣医師)に運び込まれ、回復できたものは放されますが、更にリハビリなどが必要なものは、診療機関の方から県内94の里親(個人87名、学校7校)に預けられます。それが「里親制度」なのですが、その里親たちのところに直接傷病野鳥などを持ち込むことはできませんので、ここでは、保護診療機関の方のり

ストを皆さんにお伝えすることにします。参考にしてください。

## 傷病野生鳥獣保護診療機関リスト

浅見獣医科医院(秩父市)	0494-23-6624
大山獣医科医院(東松山市)	0493-24-2248
坂戸動物病院(坂戸市)	0492-89-0090
所沢愛犬病院(所沢市)	0429-22-2929
アマルクリニックこばやし(深谷市)	0485-73-1906
田坂どうぶつ病院(深谷市)	0485-71-0508
あらい犬猫鳥の病院(熊谷市)	0485-25-5282
籠原獣医科医院(熊谷市)	0485-32-1663
川田動物病院(熊谷市)	0485-25-2284
坂本動物病院(熊谷市)	0485-21-2771
ナカムラペット病院(桶川市)	048-771-7970
川口ペットクリニック(上尾市)	048-781-2257
エンゼル動物病院(大宮市)	048-663-2300
おおわだ動物病院(大宮市)	048-686-6097
滝沢犬猫鳥の病院(大宮市)	048-652-2777
池谷犬・猫・鳥の病院(川口市)	048-266-6611
嵯峨獣医科クリニック(志木市)	048-471-3567
柿沼動物病院(蓮田市)	048-769-1132
森田一獣医科病院(春日部市)	048-735-0532
浜坂動物病院(草加市)	0489-24-7446

## キツネに出会って...

後藤康夫(嵐山町)

本日(2月7日)は、AM7:00より都幾川稲荷橋付近で観察を開始。寒さのためか釣人はだれもいない。

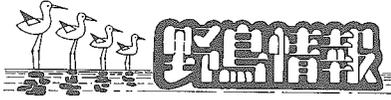
まずは、定番のイカルチドリ、クサシギを確認しようと河原を歩いていると、150~200m先に犬らしきもの一頭。さては、非常識な人間が河原遊びのすえ、残していった残飯でも漁っているのかと思い、スコープでのぞいてみると…、なんと「キツネ」ではないか。あたふたとカメラを取り出し、シャッターを切る。

今日はキツネの観察からスタートだ。考えてみれば、日本野鳥の会は自然保護団体だ。

野鳥はもちろん、ほかの動植物も含め、生態系を守る団体なのだ。たまには、「キツネの住みやすい環境とは」、「キツネの好物は」等々、考えるのもいいのではないかな。

今日は一日中、珍鳥に出会ったような浮き浮きした気持ちだった。





志木市 ◇1月4日、荒川にかかる羽根倉橋  
西岸南側のアシ原でアトリ約30羽(志賀敦)。  
久喜市菖蒲公園昭和池 ◇1月6日、ハジロ  
カイツブリ1羽(石井智)。  
鴻巣市鴻巣高校周辺 ◇1月17日、鴻巣高校  
そばの小さな池でカワセミ1羽(石井智)。  
嵐山町槻川槻川橋周辺 ◇1月31日、ダイサ  
ギ3羽、アオサギ1羽、イカルチドリ6羽  
(1羽の両脚に白い足環有り)、カワセミ  
2羽、ヤマセミ2羽(後藤康夫)。  
さきたま古墳 ◇2月1日、松林でビンズイ  
5羽(石井智)。  
深谷市仙元山 ◇2月1日、ミヤマホオジロ  
3羽、カケス3羽、ビンズイ4羽、カシラ  
ダカ3羽、ヤマガラ1羽。「ヒヨドリ山」と  
呼びたいような山。探鳥には当たり外れの  
差が大きい。枯れていく松とともに鳥も少  
なくなっているような気がする。22日、ア  
カゲラ、カケス、キクイタダキ、ビンズイ、  
ミヤマホオジロ5~6羽、ジョウビタキの  
つがい一組(村岡浩・敬子)。  
滑川町森林公園 ◇2月3日、ミソサザイ1  
羽、ルリビタキ♀2羽(島田康行)。  
坂戸市城山 ◇2月4日、キクイタダキ3羽  
当地で見るのは10年ぶり2度目(増尾隆・  
節子)。  
東松山市都幾川稲荷橋周辺 ◇2月7日、シ  
ロハラ1羽、アトリ1羽、シメ15羽、イカ  
ルチドリ3羽、クサシギ1羽、カシラダカ  
40羽(後藤康夫)。◇2月15日、ダイサ  
ギ、アオサギ、コサギ各1羽。コサギの後  
頭部にまだ短い飾り羽が2本。胸部、腹部  
にも装飾羽が出てきていた。ホオジロ、カ

シラダカに混じってアオジ8羽。道路上で  
さかんに採餌していた(後藤康夫・喜久子)。  
川越市入間川 ◇2月8日、川越親水公園で  
エナガ4羽(上野英士郎)。  
鴻巣市糠田排水機場 ◇2月8日、クサシギ  
1羽(石井智)。  
寄居町鐘撞堂山 ◇2月11日、ミヤマホオジ  
ロ♂♀各1羽、ルリビタキ♀2羽、キクイ  
タダキ1羽(黒木昭雄、増尾隆・節子)。  
吉見町八丁湖 ◇2月11日、ボート乗り場で  
オシドリ♀1羽(榎本秀和・みち子・秀  
穂・瑞穂)。  
川本町荒川明戸堰上流 ◇2月14日、トビ1  
羽、ノスリ1羽、コハクチョウ120羽、ハ  
マシギ4羽、イカルチドリ2羽、タヒバリ  
1羽、アオゲラ1羽、バン3羽、オオバン  
1羽。本日は、気温20度位まで上り、大変  
暖かく、上空でヒバリが1羽さかんにさえ  
ずっていた(後藤康夫・喜久子)。  
新座市中野 ◇2月15日、西武台高校と浦和  
所沢バイパスの間にあるハス池でアオサギ  
1羽(志賀敦)。  
戸田市道満 ◇2月16日、道満公園でオオバ  
ン3羽、バン6羽、カシラダカ。彩湖でミ  
コアイサ♂、カンムリカイツブリ7羽(夏  
羽2羽)、ノスリ2羽。荒川第一調節池右  
側の調節池管理ビルの電線上でケアシノス  
リ1羽。順光で堪能するまで観察できた。  
フィールドガイド通りに頭部、上半身が白  
っぽく、腹部中央より下が焦茶色。飛び立  
って100m程先の調節池岸の低い杭にしば  
らくとまっていた(陶山和良)。  
渡良瀬遊水地 ◇2月21日、ハマシギ10羽、  
シロチドリ、イカルチドリ、カンムリカ  
イツブリ、チュウヒ、ハイロチュウヒ、ベ  
ニマシコ♂♀各1羽(後藤康夫・喜久子)。

### 表紙の写真

#### サバクヒタキ (ヒタキ科ツグミ亜科)

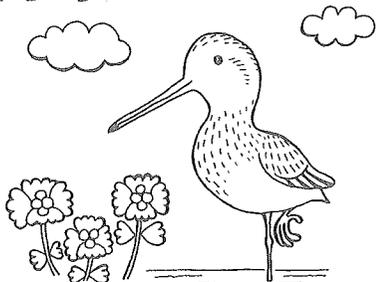
都内足立区内の荒川河川敷に昨年末から越  
冬しているメスタイプ1羽を、1月24日に春  
日部市の外園たけのさんが撮影して、送っ  
ていただきました。

前月号の表紙写真はなぜか元よりだいぶ拡

大して印刷したものですから、仕上がりがい  
まいちでしたが、今月号はばっちり。

普通はビデオプリントでもかなりきれいに  
印刷できます。どんな印刷になるか、試しに  
どんどん送ってみてください。(編集部)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

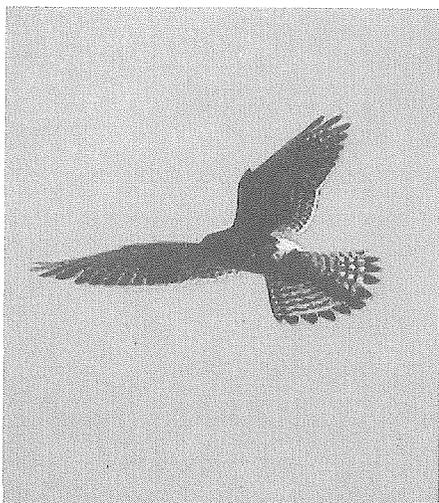
## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月5日(日)

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場。または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口、集合後タクシーで現地へ。  
リーダーの指示で分乗してください。

担当：岡安、内藤、榎本、立岩、永野(安)、永野(京)、川那部、島田、大坂、高、山田

見どころ：樹齢二百年のエドヒガンザクラは早咲き。源範頼に因む遅咲きの石戸浦桜は国指定記念物。いずれも春の訪れを示す指標です。「花にやってくる鳥たち」に注目。



チョウゲンボウ (海老原美夫)

## 浦和市・民家園周辺定例探鳥会

<見沼ヘルシーロードコース>

期日：4月5日(日)

集合：午前9時 浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前

交通：JR浦和駅西口バス1番乗場、大崎園芸植物園行8:36発に乗車、念仏橋下車

後援：浦和市くらしの博物館民家園

担当：伊藤、手塚、工藤、新堂、笠原、吉岡、若林、倉林

見どころ：春だというのに、何とか渋りの不景気な話ばかりですが、お任せください。4月の民家園は、花・華・はなの大盤振舞で、出し渋りなんか致しません。タツプリ春を感じて暖かい気持ちになりませんか。もちろん鳥もチョット見ますけど……。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月12日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：和田、森本、中島(章)、石井(博)、倉崎、松本、中里、高橋

見どころ：土手の桜も、道端の草花も満開。

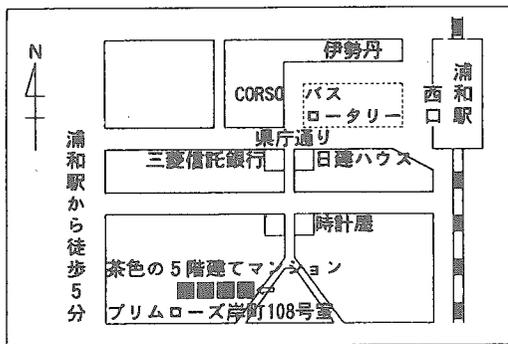
今月の目玉商品はニューナイスズメですが、猛禽類の出現も多い月です。上を向いて歩こうよ♪ きっと何か見られますよ!

### 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：4月19日（日）  
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時 浦和市立郷土博物館前  
後援：浦和市立郷土博物館  
担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、倉林、若林、岡部、兼元、森  
見どころ：見沼代用水の桜並木も、鮮やかな若葉の道になりました。カモたちは遠いシベリアへ帰って行き、ユリカモメは夏羽の黒い頭を見せて芝川を遡ってくる。三室の4月は鳥の新生活が多、楽しい探鳥会になります。

### 『しろこぼと』袋づめの会

とき：4月25日（土）午後1時～2時ごろ  
会場：支部事務局108号室  
案内：今年の冬は例年になく雪の日が多くて探鳥会の中止が多かった。でも何が降ろうが中止できないのはこの「袋づめの会」。多くの常連の協力で欠かさず無事こなしてきました。これがお店なら大繁盛です。新規顧客も大募集していますので、ぜひ一度ご来店下さい。



### 浦和市・秋ヶ瀬大久保農耕地探鳥会

期日：4月26日（日）  
集合：午前8時 JR浦和駅西口バスロータリー、集合後バスで現地へ。  
担当：福井、楠見、伊藤、小林、倉林、笠原  
見どころ：何時来ても面白い土地はそうざらにない。鳥種も多く色とり鳥だ。サギの大中小+アマサギのそろい舞い。本

当です。私はグジャレは言っても嘘はつきません。降りるバス停は「やつしまニュータウン」。

### 東松山市・物見山探鳥会

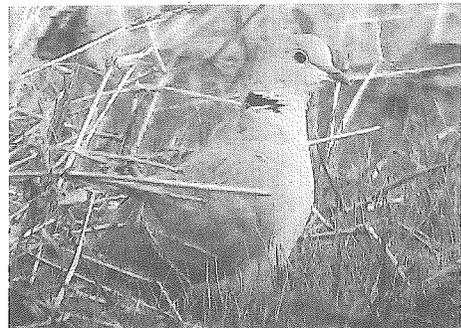
期日：4月26日（日）  
集合：午前9時30分 物見山駐車場  
交通：東武東上線高坂駅西口より、東武バス鳩山ニュータウン行き8:56、9:12発にて「大東文化大学前」下車、徒歩約5分、バス進行方向へ峠を越えたところ。  
担当：内藤、岡安、榎本、藤掛、立岩、志村  
見どころ：春が早い分だけきっと新緑も豊かでしょう。この景色で「ふるさと」の歌を思い出すといった人がいますが、森や田んぼをゆっくりと歩き、渡り途中の鳥や猛禽類を探しましょう。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月29日（水・祝）  
集合：午前8時30分 東武伊勢崎線春日部駅西口東武1番バス停前、集合後バスで現地へ。または午前9時15分 アスレチック公園前駐車場  
担当：吉安、中村（栄）、橋口、篠原（東）、入山、松永  
見どころ：連休の始まる頃になると夏鳥がやってきます。新緑の雑木林で夏鳥と、水を張り始めた田んぼでムナグロに期待しましょう。

### シギ・チドリ類県内調査

期日：4月29日（水・祝）  
埼玉県支部では、春と秋の2回、独自にシ



シラコバト（海老原美夫）

ギ・チドリ類の調査を行っています。とくに下記の地点では、より多くの会員の参加・ご協力をお願い致します。

◆秋ヶ瀬(浦和市・大宮市)

集合：午前9時30分 大久保浄水場の北西角  
近くの土手の上、グランド入り口。

担当：石井 智

解散は昼頃の予定。調査のため参加費は不要です。雨天でも行います。

長野県・白馬山麓探鳥会(要予約)

期日：5月9日(土)～10日(日)

集合：9日午前7時30分 JR高崎線本庄駅改札口付近、出発は午前8時の予定

交通：往復とも28人乗り観光バスを利用

費用：19,000円の予定(バス代、1泊3食付き宿泊費、参加費、保険料)万一過不足は当日清算。

定員：24名(申し込み者多数の場合は抽選)

申し込み：往復葉書に住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して、町田好一郎

まで。〆切りは4月13日消印まで有効

担当：町田、小池、藤掛、兼元、堀

見どころ：好評のバスツアー、残雪の白馬山麓でクロツグミ、オオルリ、キビタキ、コマドリ達との出会いを楽しみます。森林浴と温泉浴が味わえるのも白馬ならではの。バスの中では「野鳥ビデオ」も大公開!

東京都・三宅島探鳥会(要予約)

期日：5月15日(金)夜行～17日(日)

集合：15日20時30分 JR山手線浜松町駅(東京駅寄り改札口前)

帰着：東京港に17日20時30分ごろの予定

費用：23,000円の予定(1泊3食、特2等往復船賃、保険料等)。万一過不足の場合は当日精算。島内でのバス代は別途各自負担。

定員：16名程度(先着順、支部会員優先)

申込み：普通葉書で榎本秀和

まで。乗船名簿記入のため住所・氏名・年齢・性

別・職業・電話番号・喫煙の有無を必ず明記してください。

担当：榎本、長谷部、島田、大坂

見どころ：島と海と鳥の旅。船の欠航に泣かされた事もありましたが、それでも行きたい憧れのバードアイランド。帰路の船上からの海鳥ウォッチングも楽しみですよ。

注意：15日は船中泊、16日の宿は男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

長野県・戸隠飯綱高原探鳥会

期日：5月23日(土)～24日(日)

集合：23日午前9時10分、JR長野駅改札口前

交通：長野新幹線「あさま551号」(東京7:08→上野7:14→大宮7:35→熊谷7:49→高崎8:05→長野9:04)、または「あさま1号」(東京7:30→大宮7:53→長野8:53)

費用：11,000円の予定(1泊3食、現地バス代、保険料など)。万一過不足の場合は現地清算・集合場所までの交通費は各自負担。

定員：30名(先着順県支部会員優先)

申込：往復葉書に住所、氏名、性別、年齢、電話番号を明記して、菱沼一充

まで。

担当：菱沼、田口、藤掛

見どころ：初夏の戸隠へ小鳥たちの歌声を聞きに出かけませんか。日頃CDで覚えたさえずりを生で聞く絶好のチャンスです。もちろん、可憐な小鳥たちの姿もパッチリです。



カワセミ(外圍だけの)

# 行事報告



9月28日(日) 夕方の渡り調査

ボランティア: 43人

青山樹里、新井桂子、新井良夫、石光章、石光治美、上野恵美子、上野越郎、上野倫郎、江浪功、海老原教子、大坂幸男、大塚昌平、岡野強、川路良子、工藤久子、倉林宗太郎、小出博、高剋宏、高文子、小荷田行男、後藤康夫、後藤喜久子、佐久間博文、佐藤浩之、佐藤杜伍、島田恵司、島田沙織里、志村佐治、竹内峯吉、田中雅子、田中護、田邊八州雄、長嶋浩子、長嶋宏之、福井恒人、逸見嶮、増尾節子、増尾隆、三原省三、宮武祥代、森本國夫、若林多恵子、和田康男、晴天の下、天覧山、物見山、鐘撞堂山、堂平山、県民の森の丸山展望台で調査。皆さんお疲れ様でした。

1月11日(日) 千葉県船橋市 船橋海浜公園

参加: 14人 天気: 曇

ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ  
ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ スズガモ  
ホオジロガモ ウミアイサ ミヤコドリ シロチ  
ドリ メダイチドリ ダイゼン ハマシギ ミユ  
ビシギ ユリカモメ セグロカモメ カモメ キ  
ジバト ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨ  
ドリ ホオジロ オオジュリン スズメ ムクド  
リ ハシブトガラス (28種) 沖の海上に黒い帯に  
なって広がっているスズガモの群れ。その中にウ  
ミアイサやホオジロガモ、カイツブリ類が混じっ  
ている。干潟ではハマシギの間に赤い嘴のミヤコ  
ドリ。三番瀬の冬はにぎやか。(杉本秀樹)

1月18日(日) 長瀬町 長瀬

雨と積雪のため中止。

1月18日(日) 吉見町 吉見百穴

雨のため中止。

1月24~25日(土~日) 宮城県 伊豆沼

参加: 25人 天気: 雪、曇

カイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ コク

ガン マガン ヒシクイ オオハクチョウ コハ  
クチョウ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ  
ヒドリガモ アメリカヒドリ オナガガモ ハシ  
ビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジ  
ロガモ ミコアイサ カワアイサ トビ オジロ  
ワシ ノスリ チュウヒ コチョウゲンボウ キ  
ジ オオバン タゲリ タシギ ユリカモメ キ  
ジバト コミミズク カワセミ ヒバリ キセキ  
レイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ  
ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグ  
ミ ウグイス セッカ エナガ シジュウカラ  
ホオジロ カシラダカ オオジュリン アトリ  
カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクド  
リ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス

(61種) 一面銀世界の中での探鳥会。埼玉県内では味わえない探鳥となった。凍結した湖上には3羽のオジロワシが悠然と降りており、その姿をただで全員大感激。雪のおかげでくさむらに入れない小鳥たちもよく見られた。特にベニマシコの多かったこと。歩くところ、歩くところ、ベニマシコがジャンジャン出た。マガンの群れの中に1羽のコクガンがいた。なぜ沼にという声もあったが、まぎれもないコクガン。ほとんどの方が初めてということだった。(中島康夫)

1月25日(日) 長野県 軽井沢

参加: 58人 天気: 晴

カルガモ アオサギ ノスリ トビ キジ キジ  
バト アカゲラ コゲラ ヒヨドリ ルリビタキ  
ツグミ キクイタダキ エナガ コガラ ヒガラ  
ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ ホオジ  
ロ カシラダカ カワラヒワ ベニマシコ イカ  
ル シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソ  
ガラス ハシブトガラス (29種) 赤い鳥を目当て  
に、長野新幹線からしなの鉄道を乗り継いで軽井  
沢を訪れた。シ・シカシ。雪はあったが鳥が少ない。赤い鳥もベニマシコだけ。シャイな彼はバードウォッチャーに見つめられ、ボーとなって窓ガラスにぶつかり、再度ボーッ。カメラマンの絶好

のモデルになってしまった。(町田好一郎)

1月25日(日) 狭山市 入間川

参加: 24人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オオカシガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ トビ オオタカ ノスリ イカルチドリ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 風が強く寒いという天気予報だったが、河原はそれほど寒くはないので一安心。ヒメアマツバメが低空を飛び、オオタカ、カワセミ、ノスリが次々に見られる。意外なことにノスリは初記録。とどめはアオゲラの群れ。4羽確認できたという。(長谷部謙二)

1月31日(土) 大宮市 花の丘公園

参加: 34人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ オオタカ コジュケイ キジ キジバト ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 公園内の工事は完了。西新井の森には残雪で足元が不安定な場所があったが、無事終了した。カシラダカ、オナガ、キジに始まり途中シメ、ツグミ、アオジ、終わりはジョウビタキ、オオタカで締めくくった。(櫻庭勇)

1月31日(土) 『しらこぼと』袋つめの会

ボランティア: 23人

赤塚義正、新井良夫、荒木恒夫、榎本秀和、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、後藤康夫、小谷野勝栄、佐久間博文、島田恵司、志村佐治、田中久美子、陶山和良、原田譲、馬場友里恵、福島眞次、藤野富代、前沢明男、増尾隆、宮下光代、山口静江、谷津弘子

2月1日(日) 北本市 石戸宿

参加者: 79人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ キジ バン キジバト アカゲラ コゲラ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヒガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 集合地点でオオタカとカラスの空中戦。河原では、ノスリとトビが見られた。学習センター近くでバンの若鳥を全員でじっくり観察できた。大雪の後遺症と工事が重なり、小鳥が少ない。鳥合わせの後で、テレビ放映された大麻生・昭和池と岡安撮影のビデオを観賞した。

(岡安征也)

2月1日(日) 蓮田市 黒沼

参加: 17人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ オオタカ キジ バン オオバン タシギ キジバト ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ウグイス ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 冷たい北風が吹き、芦原の小鳥たちは枯草の中に潜り込んでいるためか全体に鳥の姿が少なかった。沼ではカイツブリ、バン、オオバン等の常連と6種のカモを観察。ほころび始めた梅の花を楽しみながら歩き、水の入った田のタシギをじっくり見、最後にオオタカが頭上を飛んで盛り上がった。(玉井正晴)

2月1日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 68人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ミコアイサ チョウゲンボウ オオバン セグロカモメ キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ホオジロ カシラダカ アオジ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) 2回の大雪で、期待したコミミズクの姿なし。調整池のカモも数が減り、雪の影響は鳥にも出たようだ。少ない鳥の中からミコアイサ♀とオオバン6羽、念仏橋からカワセミを確認してホッと一安心。(手塚正義)

## 連 絡 帳

### ●諫早湾閉め切り1年目のフェア

諫早湾の潮受け堤防閉め切りが行われてから4月14日(火)で1年が経過します。諫早干潟緊急救済本部(〒854-0034 長崎県諫早市小野町1100-13、TEL 0957-23-3740、FAX 0957-23-3927)と諫早干潟緊急救済東京事務所(〒102-0074 千代田区九段南4-7-22-303、TEL 03-3238-1951、FAX 03-3238-1952)は、この4月14日を、今年から「干潟を守る日」にすることにしました。

4月11日(土)の午前11時から午後4時まで代々木公園野外ステージ(原宿駅徒歩5分)で「干潟を守る日フェア1998 in TOKYO」を開催、「干潟を守る日」を宣言して、諫早湾を始め全国の干潟を守ることを改めて呼びかけます。入場無料。雨天決行。展示あり、ゲームありの楽しいフェアです。どうぞお集まりください。

### ●本部の評議員制度改正案承認

3月7日(土)と8日(日)の2日間、都内大田区で全国から評議員や支部代表等が集まる評議員会と拡大評議員会が開催され、当支部からは、評議員：海老原美夫副支部長と、オブザーバー：榎本秀和・藤掛保司両幹事が出席しました。

例年通りの事業計画や予算案と共に、今年には特に評議員制度の改正について議論され、評議員制度検討委員会が答申し、理事会が推進した改正案が承認されました。次年度からは従来100名の枠が70名に減少、従来1支部1名だったものが、ブロックごとに数名ずつ選出されることになりました。

### ●本部のバードショップ移転

自由が丘のバードショップは、1994年9月にオープンして以来、関東圏の拠点のひとつとして販売サービスの面で活躍してきましたが、立地等の制約から、本年3月末日で閉鎖することになりました。

新店舗は、渋谷区南平台町15-8、ウッディ

南平台ビル2階の本部事務局の一部に4月15日(水)オープン、土日祝祭日定休で、午前10時30分から午後5時15分まで営業します。

### ●浦和市立郷土博物館特別展

三室地区定例探鳥会の後援者である同博物館(〒336-0911 浦和市三室2458、TEL 048-874-3960)では、3月18日(水)から5月10日(日)まで、当支部もサギ類の写真提供などで協力している特別展「見沼・その歴史と文化」が開催されています。

### ●講師として普及活動

2月22日(日)千葉県市川市の行徳野鳥観察舎で、あさひカード(株)主催の探鳥会が開催され、約40名の参加者に対し、講師：海老原美夫副支部長、リーダー：大坂幸男・杉本秀樹・菱沼一充・山部直喜幹事らが指導に当たりました。

### ●4月の事務局 土曜と日曜の予定

4日(土)普及部会議。  
11日(土)編集会議。研究部会議。  
18日(土)校正作業。  
19日(日)役員会議。  
25日(土)袋づめの会。

### ●会員数は

3月2日現在3,037人です。

## 活 動 報 告

2月6日(金) 関東ブロック協議会準備作業(事務局)。  
2月11日(休) 役員会議(司会：藤掛保司、8月までの行事予定・その他)  
2月14日(土) 編集会議。研究部会議。  
2月21日(土) 校正作業(海老原)。

## 編 集 後 記

今月号は、連絡帳にはあまり書くことがないなと思いながら書き始めたのに、いつのまにか、あっあっあれ……。 (海)

『しらこぼと』1998年4月号(第168号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)